



迦陵園 だより

平成 26 年 7 月 発 行
 社会福祉法人 迦陵園
 (児童養護施設)
 〒606-0802
 京都市左京区下鴨宮崎町 109
 TEL (075) 701-0250
 発行人 松浦 弘 和
 編 集 迦陵園 編集部

迦陵園 基本方針

— 養育目標 —

- ◎ 子どもの命と人権を守る。
- 人間性豊かな子を育てる。
- 心身共にたくましい子を育てる。
- 健全な社会人として生きていけるような子を育てる。

児童養護施設に入所している子どもの発達

心理療法士 横山 隆行

新学期も始まって 3 ヶ月程度が経ち、子ども達の学校での様子がいろいろと伝わってくる頃でもあります。学校での様子は迦陵園の職員の間でも大きな関心事の一つです。何の問題もなく適応している子どももいれば、最初から躓いたりする子どももいて本当に子どもによって様々です。

児童養護施設で働いていると実感することなのですが、不適切な養育環境で育ってきた子ども達の中には知的な発達の課題を持っている場合が少なくありません。児童養護施設など公的な保護下にある子ども達の知的発達の問題は様々な調査で指摘されています。この事実はどのように考えればよいのでしょうか。

子どもの知的発達の問題は、遺伝的要因や妊娠中の喫煙・飲酒などの出産前の要因で説明されることが多く、出産後の環境的な要因はあまり重視されていないように感じます。もちろん、こういった出産前の要因が子どもの発達に影響を与えることは容易に想像がつくことですが、現在では環境的な要因の重要性が神経科学をはじめとする分野から次第に明らかになりつつあります。

私達が愛する誰かと一緒にいるときや、マッサージを受けているときにオキシトシンというホルモンが脳内で放出されることが知られています。オキシトシンは愛情ホルモンとも呼ばれており、温かく親しみのある感情を喚起させます。愛情深い養育環境におかれている子どもは、オキシトシンをはじめとする様々なホルモンや神経伝達物質が分泌され、脳内で新しい神経回路の形勢が促されます。

一方、虐待などの深刻な心的外傷を体験したり、絶え間ない苦しみを経験すると、コルチゾールというストレスホルモンが放出されます。このコルチゾールには多くの有害な作用があり、記憶を司る部位である海馬の細胞を攻撃し記憶の喪失を引き起こすなど、脳の様々な部位の発達を阻害する働きがあると指摘されています。

このように、不適切な養育環境は子ども達の脳の発達に直接的な影響を与えます。近年、目覚ましく発達した神経科学は、子どもの発達における養育環境の重要性を実証してきていますし、児童養護施設に入所している子どもで知的な課題がある子どもの割合の高さを説明しているように思います。

悲観的な研究ばかりではありません。私達の脳は生涯を通じて変化していくことが知られています。確かに、生後 2 年までの間が中枢神経の発達に大きな影響を与えますが、人間には可塑性があり、生涯を通じて、特に青年期までには再び大きな発達を遂げる可能性があると言われていました。

このような研究は児童養護施設の役割を改めて考えさせられます。様々な理由で養育環境が破綻した子ども達に対して、安心できる環境の下で肯定的な人間関係を提供することが最も重要な役割だといえるでしょう。

私は迦陵園に勤務するようになって 8 年目を迎えますが、迦陵園に入所している子ども達の中に、発達指数が年々高くなっていく子どもを何人か目にしています。行動面の成長だけでなく、こういった知的能力の向上を目の当たりにすると、私達の仕事には大変大きな意義があると感じることが出来ます。このように私たち児童養護施設で働く職員の仕事は、入所している子ども達が本来持っている発達の力を十分に発揮できるように支援したり、その力を回復させる仕事だとも言えるのではないのでしょうか。

新規採用職員 挨拶

児童指導員 久保 祐介

この度 6 月より、児童指導員として勤めさせて頂くこととなりました、久保祐介と申します。

私は昨年度まで別の養護施設で働いておりました。「これまで環境に恵まれなかった子ども達の為になにか力になることはできないか」と思い勤め始め、様々なご縁がありこの度迦陵園でお世話になる事となりました。住環境や地域性など様々な違いはありますが、そこに暮らす子ども達と、子ども達の成長と笑顔の為に頑張る先輩職員の方々に違いはありません。前職の経験を活かしつつ、少しでも力になれるよう尽力して参りたいと思いますので、ご指導の程宜しくお願い致します。

ハンナリーズ招待

児童指導員 松吉 政和

昨年に続き、今年も京都ハンナリーズからバスケットボールの試合に招待して頂きました。高い位置から全体を見渡せる場所で観戦することができたので、流れるパスワークや一瞬で相手コートに攻め入る素早い攻撃などコートを端から端まで使う選手の動きを観ることが出来ました。

初めてプロのバスケットボールの試合を生で観戦しましたが、応援の音や声、コート上の音などすごく迫力がありました。気づけば子ども達に巻き込まれるように私自身も大きな声で応援し、点の取り合いに一喜一憂していました。

今回の招待は子ども達にとっても、私自身にとっても良い経験になりました。動きがすごかった、選手がカッコ良かったなどと言っており楽しく観戦できた様子です。この度は招待をして頂き、ありがとうございました。

史跡糺の森市民植樹祭参加

主任児童指導員 松本 悟史



4 月 29 日、加茂御祖神社で行われた市民植樹祭に迦陵園後援会支援のもと、今年も小学生～高校生までの児童が参加しました。

今年は、幼児も一緒に連れていく計画をたてていたのですが、あいにく雨が降っている天候であった為、参加させてあげられなかったのが残念でしたが、参加した子ども達は、そのような天候も関係なく、一本一本苗木を一生懸命大切に植えていました。

今年植えた苗がどのように成長しているのか、またこれまでに植えてきた苗がどうなっているのかなど、また糺の森へ遊びに行った際には、確認したいなと思っていますし、来年は天気がよくなることを願い、ぜひ幼児さん達も参加させて一緒に自然のよさを体験させてあげたいなと思っています。

第 1 回迦陵園子ども祭り

保育士 脇戸 真実子

去る 5 月 3 日憲法記念日に開催されたお祭り。心配された天候にも恵まれた G W の最中、下鴨神社では葵祭が開催されているにも関わらず、多くの方々に参加して下さいました。

昨年度は園庭開き、今年度からは子ども祭りとして迦陵園の目玉企画となる予定です。

今年はオープニングアクトのパフォーマンスやスペシャルゲストとして昨年度のクリスマス会に続きエイサー 8 選手に登場していただきました。飛び入りの参加の子どものおし物もありました。昨年度好評だったたこ焼き・焼きそば・ジュースに加えフランクフルト・カレーとたこせんを出店しました。更にわかさ生活さんのご好意によりゲームのブースも出店していただきました。どのブースも盛況の中幕を下ろすことができました。

来年はもっと美味しく提供できるよう精進精進です。

ドラゴンゲートプロレス招待

主任児童指導員 松本 悟史

5月4日にドラゴンゲートプロレスに招待していただきました。

ドラゴンゲートプロレス様にはこれまでも何度も招待していただいているのですが、子ども達は毎回この招待がくるのを心待ちにしています。

今回の招待では、子ども達はお気に入りの選手からサインをもらうため、自分たちの小遣いをその日まで頑張って貯めて、グッズを購入したりという新たな姿がみられました。子ども達はなかなか普段目的を決めても、お金を貯めるということができない子が多いのですが、そういった面でも嬉しい光景がみられるようになりました。そして、そうやってもらったサインを子ども達は目を輝かせながら嬉しそうに見せにきてくれるのが本当に嬉しかったです。

こういう出来事が起きてきたのも、何度も招待して下さっているおかげだと思っております。

今後とも宜しく願いいたします。

五月人形寄贈

児童指導員 澤 亮太

女の子といえばお雛様、男の子といえばカッコいい兜。小さい頃からこのようなイメージが私には強く残っております。今となっては普通の家庭でもそういった行事物を用意するご家庭が減ってきているように感じているのは私だけではないはずです。

子どもにしてみればかっこよくて、ぜったい触って遊びたくなること間違いなしの五月人形。最初のうちは刀を少し持ってみたり、兜に触れてみたりとイタズラをする子どもが見られましたが、数日もすると子ども達の生活の流れの一部に溶け込んでいました。ある子どもはじっくり五月人形を眺めてみたり、ある小さい子どもは一緒に近くまで行くと怖くて泣いてしまったりと反応も子どもそれぞれで違います。様々な行事を通じて、その際に出会った「モノ」と触れ合い、色んな感情を持つことがこれから成長していく子どもにとって必要不可欠であるということを学びました。

五月人形を寄贈していただき、本当にありがとうございます。来年もまた五月人形と会える日を楽しみに子ども達とお待ちしております。



子どもの日・映画外出

児童指導員 副島 佳苗

5月5日・子どもの日は愛宕山登山！！

…の予定でしたが、前日の天気予報ではあいにくの雨。

ということで、映画外出に急遽変更、みんなで何の映画を観たいか話し合い、それぞれの班に分かれて映画鑑賞へといざ出発。日頃、映画を観る機会の少ない園児にとってGWの外出はわくわくウキウキ。連休中の映画館は人がいっぱいコミコミ状態。そんなことを気にするでもなく、チケットを受け取り席につくとポップコーンを口いっぱい頬張り、映画が始まるのを待ちました。それぞれに映画を観終え、笑顔で帰園すると口々に楽しかったと久しぶりに職員との外出を楽しんだ報告を聞くことが出来ました。

5月5日 幼児外出

保育士 山本 千春

前日からてるてる坊主も作り、とても楽しみにしている様子でした。「仮面ライダーウィザードに会える！ワイ」と男の子。「私プリキュアがよかった」と女の子。

当日はあいにくの雨でしたが、地下鉄に乗り、各駅のスタンプを目指して出発しました。スタンプを押すのも、みんなで競い合っていて楽しんでいましたが、最後のお楽しみウィザードにも見え、満足出来た1日でした。

5月11日 美術館「えき」招待

児童指導員 竹内 萌

5月11日、美術館「えき」KYOTOに行ってきました。小学生2人、中学生1人、高校生1人を連れて、職員共々わくわくしながら京都駅に向かいました。100冊以上の絵本を出版する人気作家、長谷川義史さんの絵本原画展ということで、特に中高生はじっくりと見て回り、長谷川さんの世界観に浸っているようでした。また、出口の方ではたくさんの素敵なグッズが売られており、とても可愛い「シバ犬のチャイ」のポストカードを買って帰る子もいました。趣味で絵を描く子もいたので、鮮やかな色彩やユーモア溢れるイラストたちに、よい刺激をもらったのではと思います。これからも積極的に子ども達と、美しいものや、面白いものに触れていきたいと感じました。

5月17日 田植え招待

児童指導員 竹内 萌

焼き肉の南山さんのご招待で、田植えに参加させていただきました。天候にも恵まれ、晴れ晴れとした青空のもと、いざ田植え開始！素足に伝わるひんやりとした泥の感触に「気持ちいいー！」と喜ぶ声や、違和感を感じて泣き出してしまおう子もいたり…。たくさんの新しい発見に、子ども達の目は輝いていました。その後は、ひたすら田植えを頑張る子や、お花を集めて冠を作る女の子、体中に泥を塗ってはしゃぐ男の子、いろんな虫を見つけてみたりなど、それぞれが自分のペースで楽しむことが出来たように感じます。自然と触れ合うことの少なくなってきた昨今、子ども達の五感をフル回転させる貴重な時間になったと思います。

私自身、泥だらけになって遊ぶ楽しさや、食物を作る大変さを身を持って実感し、とても良い経験になりました。

ご招待いただき、本当にありがとうございました。

さくらロータリークラブ招待 玉ねぎ収穫



主任児童指導員 若林 里仁

毎年恒例の行事となっている玉ねぎ収穫行事に子ども達と共に参加しました。

5月の末日でしたが、夏のようにとても暑い日でした。子ども達は収穫の作業よりも用意して頂いたラムネに気持ちは行っていましたが、汗をかきながら一生懸命玉ねぎを引き抜いていました。カエル発見の声があがると皆でそちらになだれ込む様子も微笑ましいものでした。

昼食には鉄板で焼いたチキンやソーセージ、そして顔の大きさほどもあるハンバーガーを頬張る子ども達。ポップコーンや和菓子なども頂きお腹いっぱいになりました。

作物の収穫は食育の原点だと考えています。毎年繰り返していることだからこそ、植え付けと収穫がつながるものとなるべく、子ども達にも伝えていきたいと思っています。

女子プロ野球招待について

主任児童指導員 松本 悟史



6月7日にわかさスタジアム京都で行われた女子プロ野球の試合に今年二度目の招待をしていただきました。

今回の招待は、前回の招待の際に、高校生の女の子が始球式をしてみたいとリクエストしたところ、本当に始球式をさせてもらえることになりきまった招待ということで、たくさんの園児も参加させていただき、またその高校生の通っている高校の友人も招待していただきました。

今回始球式を担当した子はとても緊張した様子でしたが、立派に大役をつとめてくれました。またその高校生以外にも、他のポジションも全て子ども達に守らせていただいたり、試合の合間のグラウンドでのイベントにも参加させていただいたり、なかなか体験させてもらえないようなグラウンドに立つという経験を立て続けにさせていただき、子ども達は大喜びでした。

今回このような貴重な体験をさせていただいた株式会社わかさ生活様には本当に感謝いたしております。本当に有難うございました。

京都競馬場招待 ポニー乗馬体験

児童指導員 川邊 直樹

京都競馬場の招待でポニーと馬車に子どもと乗ってきました。ほとんどの子どもが馬に触れることが初めてで最初は怖がっていましたが、ポニーに乗ると楽しかったようでまた乗りたいと喜んでいました。

また、ポニーや競走馬そして馬車の馬など仕事に応じてたくさんの馬がいることを学びました。小さい馬・仔馬イコールポニーと今まで思っていたこともあり多くの馬と触れ合いとても勉強になりました。

また、馬に直接触れるという素晴らしい機会は子ども達にとっても大人にとっても勉強になりました。

卓球大会

児童指導員 梅津 幸生

6月22日、育事協主催の卓球大会に参加させて頂きました。京都市内の児童福祉施設が集まり、午前に個人戦、午後に団体戦が行われました。

白熱した好ゲームが何試合も見られ、応援も次第に熱が入っていき、点を取ると拍手が起き、点を取られても「ドンマイ」とお互いに声をかけていました。その応援に応えるように、どの子どもも最後の一点まで一生懸命頑張っていました。その結果団体戦では4位とメダルまであと一步でしたが、個人戦では3人の子どもが入賞することができました。この日のために園で練習を重ねていて、その成果が発揮できたのではないかと思います。

また来年は今年より1つでも多く勝つことのできるよう、練習を積み重ねていってほしいと思います。

食育調理教室

保育士 名越 育未

6月22日、食育調理教室にきたやま南山さん、行動科学研究所さんに招待していただきました。

テーマは「エネルギーが創る料理」高校生、専門学生の4名が参加させていただきました。滋賀県の比叡平の自然に触れながらの食事、目の前で焼かれる見たことのないような大きさのお肉。子ども達も、もちろんのこと職員までも目が釘付けになりました。「ロケットストーブ」で火を起す作業を体験したり、まき割りを体験させていただいたりと非日常体験をさせていただきました。子ども達の表情はとてもイキイキとしており、とても楽しんでいました。

行動科学研究所さん、いつもお世話になっている、きたやま南山さん、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

園庭での野菜作り

児童指導員 川邊 直樹



迦陵園の園庭で畑を作りそして野菜を作り始めてから三年が経ちました。野菜作りはとても難しく気候や天気にも左右されるだけでなく虫やカラスなど様々なことを考えながら栽培しないと上手に作れず、初年度はほとんど収穫することができませんでした。

今まで育てている野菜はキュウリ、トマト、ししとう、ジャガイモ、はくさい、大根など様々な種類を育てています。最初、子ども達は野菜作りに全く興味を示さず、職員が育てていました。しかし、植付けから水やりそして収穫と少しずつ一緒に取り組むことで今では積極的に野菜作りに取り組む子どもが増えてきて

います。また、自分で作った野菜を収穫してすぐにその場で食べたり、食卓に並ぶことで野菜作りがもっとも楽しくなることを学びました。

子ども達と野菜作りを続けていくにあたって、間引き、水の加減、定期的な除草など多くのことを学びました。二年目、三年目と野菜を作り毎回の反省や学んだことを活かしていくことで美味しい野菜をたくさんつくるようになってきました。野菜作りで学ぶことはまだまだたくさんありますが、これからも子ども達と美味しい野菜を作り続けていきたいと考えています。

貸 借 対 照 表

平成 26 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表表体。資産の部、負債の部、純資産の部の各項目と金額、増減額を示す。

脚注 1. 減価償却費の累計額 132,627,896 円

資 金 収 支 計 算 書

(自)平成 25 年 4 月 1 日 (至)平成 26 年 3 月 31 日 (単位：円)

資金収支計算書表体。勘定科目、予算、決算、差異の各項目を示す。

事 業 活 動 収 支 計 算 書

(自)平成 25 年 4 月 1 日 (至)平成 26 年 3 月 31 日 (単位：円)

事業活動収支計算書表体。勘定科目、本年度決算、前年度決算、増減の各項目を示す。

財 産 目 録

平成 26 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

資 産 ・ 負 債 の 内 訳		金 額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金		62,078
当座預金		236,295
普通預金		42,693,286
未収金		1,957,384
前払金		636,360
その他の流動資産		247,000
流動資産合計		45,832,403
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
建物	109 番地-2 鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建 573.59㎡	67,866,577
	108 番地 鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建 275.10㎡	
土地	京都市左京区下鴨宮崎町 109 番地 305.81㎡	27,018,800
	〃 109 番地-1 200.42㎡	
基本財産合計		94,885,377
(2) その他の固定資産		
構築物		29,570
車両運搬具		2,336,838
器具及び備品		6,728,323
措置施設繰越特定預金		144,960,204
退職共済預け金		11,848,814
その他の固定資産合計		165,903,749
固定資産合計		260,789,126
資産合計		306,621,529
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		1,832,894
預り金		888,282
流動負債合計		2,721,176
2. 固定負債		
退職給与引当金		21,624,584
固定負債合計		21,624,584
負債合計		24,345,760
差引純資産		282,275,769

監 事 監 査 報 告 書

平成 26 年 5 月 20 日

監査の方法の概要

- 1 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- 2 業務監査について、理事会に出席し、理事等から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

以上、平成 25 年度の社会福祉法人迦陵園の事業報告書、財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書、及び理事の業務執行の状況については、関連する法令及び通知に従った監査の結果、正しく示され適正であると認めます。

以上

監 事 中山 光雄

監 事 八木保裕

編集者からの
ひとこと

4 月から 6 月までに様々な行事があり、子ども達にとっては有意義な 3 カ月になりました。その一つ一つが子ども達の成長に繋がると思うと、もっといろいろなことを体験し挑戦してほしいと思います。今年も早いものでもう半分が終わってしまいました。残された半年を大事に過ごして欲しいと思います。

編集委員 松吉 政和